



💡 **ポイント** さえ掴めば

データチェックサービス不要!?

完全データ入稿ガイド

🌱 もくじ 🌱

Step0：データ入稿とは？

おさえるべきポイントをチェック！

Step1-1：入稿用テンプレートを用意しよう！

Step1-2：トンボ（トリムマーク）って？

Step2：文字情報を配置するときの注意点

Step3：画像はすべて埋め込もう！

Step4：印刷・裁断ズレについて確認しよう！

Step5：印刷データがロックされていないか確認しよう！

Step6：作ったデータを1つのレイヤーに結合しよう！

Step7：印刷に不要なデータは削除しよう！

Step8：『効果』や『パターン』を使ったデータについて

Step9：色数・特色・カラーモードを確認しよう！

Step10：箔押し名刺を作成する時の注意事項

おまけ：最終チェック！

よくある不備項目も確認しよう



✓ Step0：データ入稿とは？おさえるべきポイントをチェック！

名刺良品の『データ入稿』サービスは、『Adobe Illustrator』で作成されたお手元のデータをお客様ご自身で入稿（アップロード）していただくご注文方法です。ご入稿いただいたデータは、弊社で手を加えずそのまま印刷いたします。

ご入稿いただいたデータに関しまして、下記の観点で不備があると、印刷工程に支障が出たり、ご注文金額に変更が生じる場合がありますので、データチェックサービスのお申し込み有無に関わらず、一律でご確認させていただいております。

📎 こんなデータはNG！作成したデータを確認しよう

- ⚠️ トンボが作成されていない（画像のトンボはNG）
- ⚠️ 画像のリンクエラー
- ⚠️ 画像解像度が350dpi (ppi) 以上
- ⚠️ データ容量が片面10MBを超えている
- ⚠️ 注文時の色数と入稿データが異なる（カラー・モノクロ、片面印刷・両面印刷）
- ⚠️ 箔押しに関する不備（箔押し加工をご注文の場合）



※パスが細かいデータは容量に関わらずデータが重くなりますので、ラスター化した上でご入稿ください。その他、作成の仕方によりデータが重くなる場合があります。工程を進めた段階で印刷が難しいと判断した際も不備としてご連絡させていただくため、納期が遅れる場合があります。予めご了承ください。

📎 ご注意ください！データチェックサービスの対象外項目

データチェックリストにない項目として、例えば下記のようなものが挙げられます。こちらはデータチェックサービスの対象外となりますので、仕上がりについてのお問い合わせをいただいても再印刷等の保証対象外となる場合があります。ご了承ください。

- ⚠️ デザイン上の不備（誤字脱字、レイアウトのズレや配置間違いなど）
- ⚠️ 『効果』から作成したオブジェクトやパターンオブジェクトの「分割・拡張」「アピアランス分割」忘れ
- ⚠️ 文字のサイズと太さ
- ⚠️ 色の薄さ
- ⚠️ その他、データの作成過程による不備



名刺良品のホームページでは、この『完全データ入稿ガイド』の内容をさらに詳しく紹介しているよ。確認してみてね！

<https://www.meishiryohin.com/guide/data-index>

「ガイドを確認しながらデータを作ってみたけどやっぱり不安…」という方は『データチェックサービス 330円/版（データ）』をご検討ください。

< <https://www.meishiryohin.com/option/datacheck> >



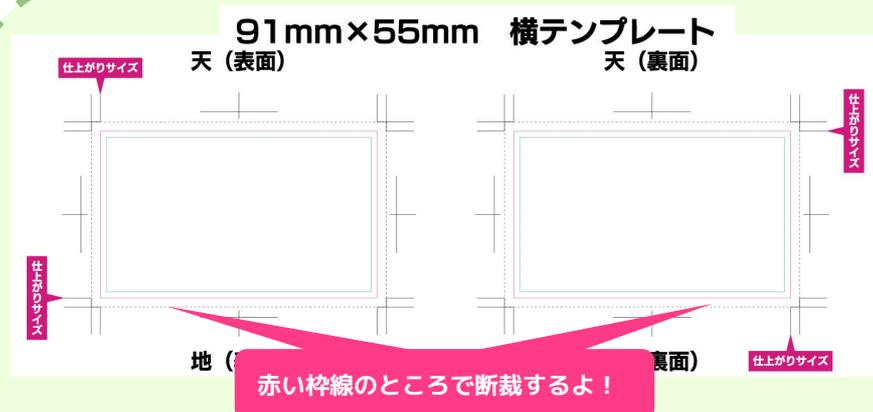
Step1-1：入稿用テンプレートを用意しよう！



トンボ作成の手間を省く！トンボ付き入稿用テンプレートはコチラ
<<https://www.meishiryohin.com/service/temp>>

※ご利用のAdobe Illustratorのバージョンによっては、テンプレートが正常に開けない場合があります。Illustrator 2023（バージョン27以上）をご利用ください。

ダウンロードが完了したら、『Adobe Illustrator』でテンプレートのファイルを開きましょう。ここでは91mm×55mmサイズの「91x55_YOKO.ai」を例に説明していきます。

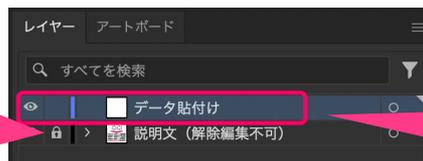


カラーモードが**CMYK**になっているか確認しよう！
「ウィンドウ」→「ドキュメント情報」から「カラーモード」が**CMYKカラー**であることを確認してね。

<https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-06>

＼テンプレートのレイヤーを確認しよう！

「説明文」レイヤーはロック（鍵マーク）したまま、編集せずにテンプレートを使ってね



印刷データは「データ貼り付け」レイヤーに全てまとめて作成してね

ポイント

Q.注文したいサイズのテンプレートが用意されていないときは？

次ページにあるStep1-2と、下のURLにトンボの作り方を紹介しているよ！

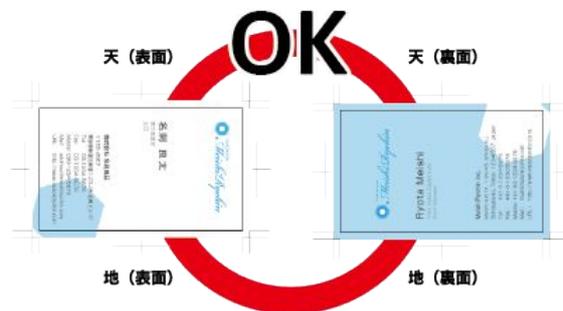
詳しくはこちら▶<https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-01>



天地・印刷向きについて確認しよう



NG

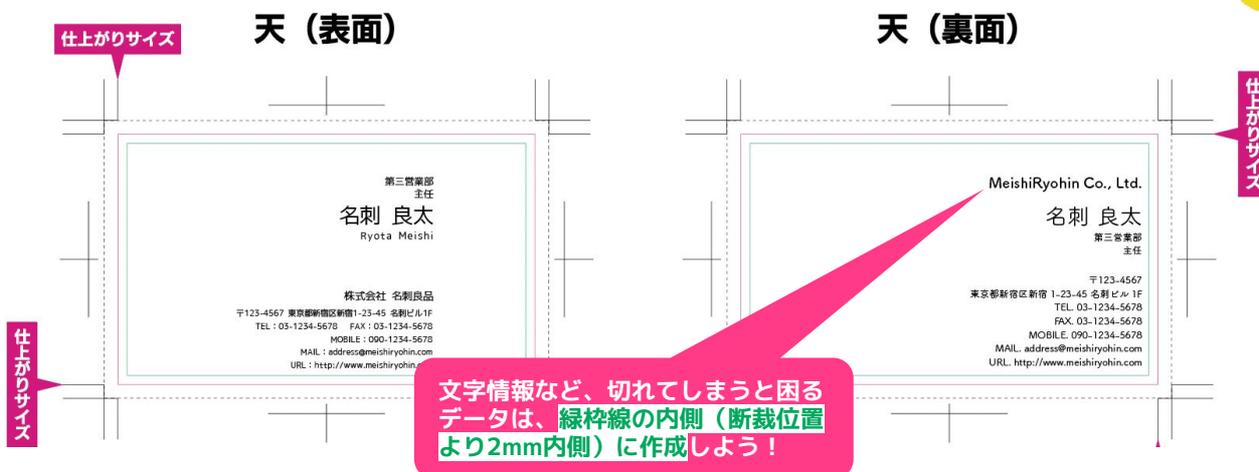


ポイント

縦名刺と横名刺を組み合わせる場合は、印刷データの向きが揃っている状態でご入稿ください。

《 詳しくはこちら▶<https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-07> 》

Step2：文字情報を配置するときの注意点



データ作成時に使用した**フォント**は**すべてアウトライン化**してからご入稿ください。データを作成した環境とは異なるパソコンでデータを開くため、同じフォントが入っていない場合は別のフォントに置き換えられてしまいます。

《 詳しくはこちら ▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-02> 》

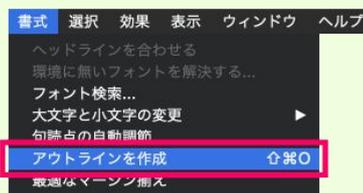
①テキスト入力が完了したら、『選択』→『すべてを選択』

名刺良品



テキストを入力したら
黒い矢印を選択

②『書式』→『アウトラインを作成』



文字の周りに線が囲われた状態 /



アウトライン化



アウトライン化してるかどうかの判別が難しい場合は、『表示』→『アウトライン』で確認できるよ！



文字を入力したときのスペースや、未入力のテキストボックスが残ってしまっている状態のオブジェクトを**孤立点**と呼びます。この孤立点が残っていると、アウトラインエラーが生じたり、印刷時に黒い点として出力されてしまうことがあります。

《 詳しくはこちら ▶ https://www.meishiryohin.com/blog/illustrator_1?redirect=true 》

文字のサイズや太さ、色の薄さについては、**データチェックの対象外**となります。**文字の大きさは5pt以上、線幅は0.25pt以上**でのデータ作成を推奨しています。名刺良品にて無料でお配りしているサンプル用紙をご参考ください。

＜ 無料サンプル請求はこちら ▶ <https://www.meishiryohin.com/sample> ＞

Step3：画像はすべて埋め込もう！

印刷時にリンクエラーによるデータの抜け落ちを防ぐため、**配置した画像はすべて埋め込んでください**。画像を埋め込む方法はいくつかありますが、そのうちの1つをご紹介します。

《詳しくはこちら》▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-04> 《



画像を選択して、Illustratorメニュー「ウィンドウ」→「リンク」に表示された解像度（PPI）が300～350になっていることを確認しよう！



データを保存するときに、「リンクファイルを埋め込む」にチェックを入れて保存すると、画像を埋め込めるよ。

画像は配置したままだとリンクエラーを起こしてしまう可能性があるため、忘れずに埋め込もう！



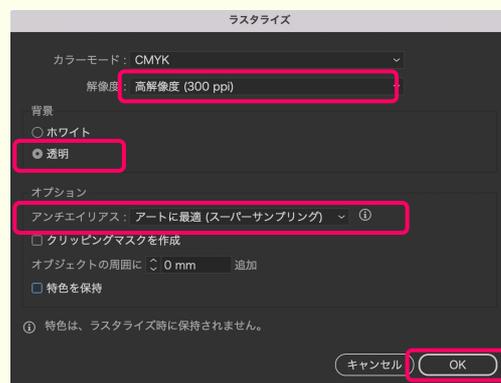
容量が大きいデータについて

解像度が350dpi以上ある埋め込み画像や、パスの多い複雑なデータは容量が大きく、印刷機にデータを転送する最中にデータの一部が抜けてしまうなど、**思わぬ印刷トラブルにつながる恐れ**があります。大きいデータは**ラスターライズ**し、データ容量を小さくしてご入稿ください。

Q.配置した画像の解像度が350PPIを超えているときは？

次の手順で画像をラスターライズしよう！

- ① 画像を選択し、Illustratorメニューから『オブジェクト』→『ラスターライズ』
- ② 『ラスターライズ』オプションで以下を選択
 - ・ 解像度：高解像度（300 ppi）
 - ・ 背景：透明
 - ・ アンチエイリアス：アートに最適
- ③ 「OK」をクリック



パスの多い複雑なデータも同じようにラスターライズしよう！

その他、データ作成の仕方によってはデータが重くなる場合がございます。その際も不備としてご連絡させていただく場合があります。



Step4 : 印刷・裁断ズレについて確認しよう！

季節や気候など環境によって用紙の状態が変化したり、機械に用紙を通す際に、機械内部の熱や湿度による用紙内の水分量の変動で用紙が伸縮します。そのため、**最大2mmまでの印刷・裁断によるズレに関しては許容範囲**とさせていただきます。

《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-05> 》

塗り足し（フチなし印刷）について

仕上がりサイズのフチまでデザインを印刷する場合、ズレを考慮して仕上がりサイズより余分にデータを作成する必要があります。これを「塗り足し」と言います。

塗り足しは、仕上がりサイズ(裁断位置)より**外側に3mm以上**必要です。

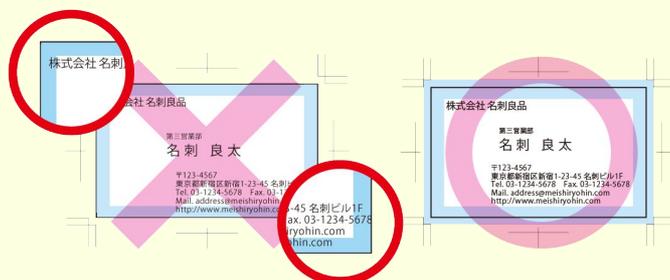


塗り足しは点線を超えてもOK！

印刷・裁断ズレは内側にも影響します

塗り足しが必要のないデータも、仕上がりサイズぎりぎりの位置に文字やデザインを配置していると、切れてしまう恐れがあります。

切れて困るデータは、仕上がりサイズより**2mm以上内側に**納めてください。



ポイント 枠のデザインについては、デザインが切れないように内側2mm以内まで塗り足してね！

内側2mm、外側3mmの位置が一目瞭然◎入稿用テンプレートがおすすめ！

< <https://www.meishiryohin.com/service/temp> >



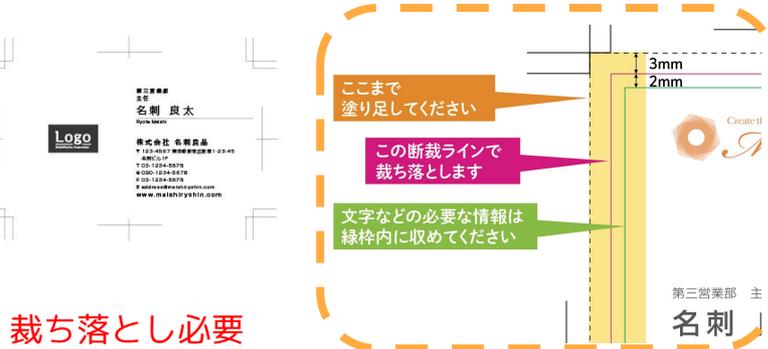
裁ち落とし加工について

裁ち落とし加工とは、塗りだし部分を含めて用紙を断裁し、目的のサイズに仕上げるオプション加工のことを指します。データに塗り足しがある場合は「**裁ち落とし加工**」を選択の上、ご注文ください。



裁ち落とし不要

裁ち落とし必要



裁ち落とし必要
(横棒が対象)

《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-05> 》

Step5 : 印刷データがロックされていないか確認しよう！

データがすべて表示されていても、**ロックされている部分は印刷する際に抜けてしまう**ため、印刷するデータはすべてロックを解除した状態でご入稿ください。

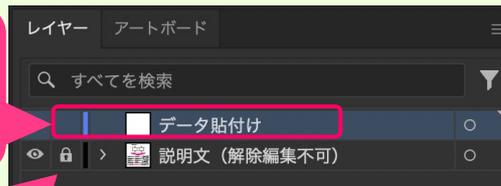
《 詳しくはこちら ▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-08> 》



【Check.1】

印刷データが入ったレイヤーのロックは外れていますか？

印刷データが入ったレイヤーは必ずロックを解除しよう！



『説明文』レイヤーは、ロック解除しないように注意！

【Check.2】

個別のデータ自体にロックはかかっていませんか？

Illustratorメニューの『オブジェクト』→『すべてをロック解除』

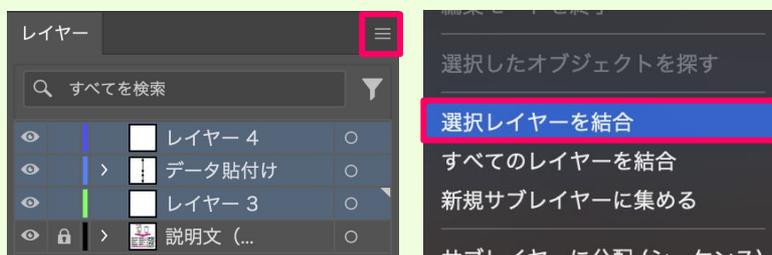


Step6 : 作ったデータを1つのレイヤーに結合しよう！

印刷するデータはすべて表示された状態でご入稿ください。印刷を行う際に**レイヤーの上下関係が崩れてしまう可能性がある**ため、印刷データが入ったレイヤーはすべて結合してください。

《 詳しくはこちら ▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-09> 》

- ① 結合するレイヤーを選択
- ② レイヤーのオプションから『選択レイヤーを結合』を選択



ポイント

『説明文』レイヤーは、一緒に結合しないように注意してね！



Step7：印刷に不要なデータは削除しよう！

Point.1

印刷範囲内に不要なオブジェクトやフォントが含まれていても、不要かどうかの判断が難しいため、不要なデータは削除してください。

Point.2

印刷や断裁の作業工程の中で最大2mm程度のズレが生じることがあるため、トンボより内側に不要なデータを入れないように、ご注意ください。

Point.3

印刷ミスを防ぐため、印刷しない版下データは削除した状態でご入稿ください。



《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-08> 》

Step8：『効果』や『パターン』を使ったデータについて

Illustratorメニューの『効果』を利用して作成したデータや、パターンオブジェクトについては、**データチェックサービス対象外**となります。

《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-03> 》

効果を利用して作成したデータの例

ドロップシャドウ



ぼかし



波形



円弧



変形・ワープ・ドロップシャドウなど効果を使ったオブジェクトは、データを回転した際に形が崩れないように『**アピアランス分割**』や『**分割・拡張**』、もしくは『**ラスターライズ**』をしましょう。

パターンオブジェクトの例 見比べてみよう！

＼データが変わる／



対策後

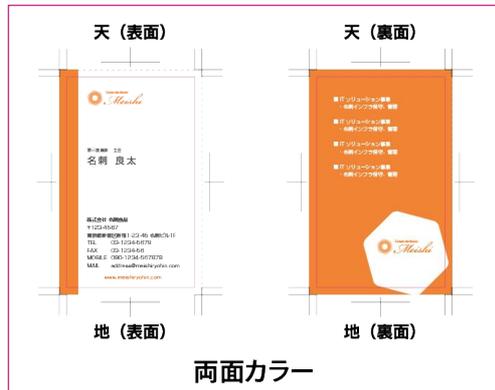
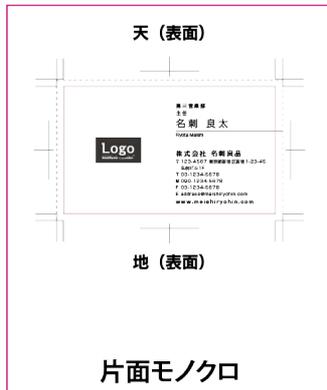
＼データが固定される／



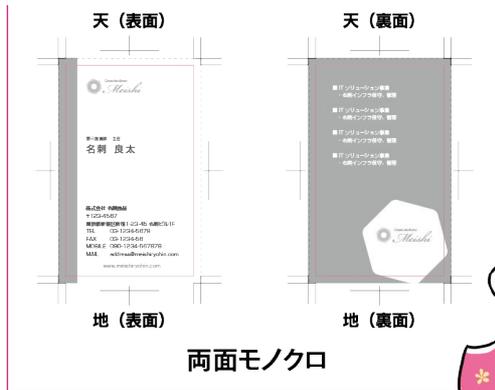
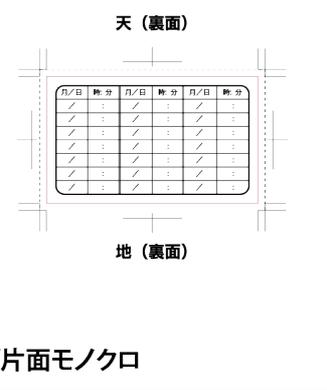
パターンオブジェクト使用時は、『**ラスターライズ**』して**画像に変換**、もしくは『**オブジェクト**』から『**分割・拡張**』を選択し、データが変わるのを防ぎましょう。



Step9 : 色数・特色・カラーモードを確認しよう！



＼注文の前に、入稿データがどの色数に当てはまるか確認しよう！／



カラーモードはCMYKで作ろう！

CMYK4色のトナーで印刷しているため、CMYKカラーで作成してください。



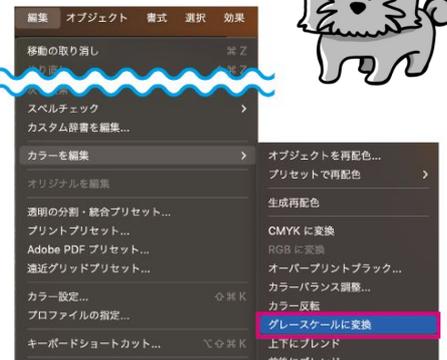
特色はCMYKに変更しよう！

変更するデータを選択して『編集』→『カラーを編集』→『CMYKに変換』の操作をお願いします。



Q. テキストやQRコードなど「モノクロに見えるけどデータ上はカラー」のデータを「モノクロ」に変換したい！

- ①モノクロにしたいデータを選択
- ②Illustratorメニューから『編集』→『カラーを編集』→『グレースケールに変換』



《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-06> 》

Step10：箔押し名刺を作成する時の注意事項

箔押し加工専用の入稿用テンプレートをご利用ください
[＜https://www.meishiryohin.com/service/temp＞](https://www.meishiryohin.com/service/temp)

名刺良品では『転写方式』を採用しており、箔のフィルムを印刷したトナーに反応させ、印刷用紙に熱で圧着させています。

◎箔押し部分の周りには**1.5mm以上の余白**を設けてください

箔押し加工後に箔以外の通常データを印刷するため、背景などの通常データの上に箔押し加工はできません。印刷ズレによって箔と他のデータが重なる恐れがあるため、**1.5mm以上の余白**を作成してください。

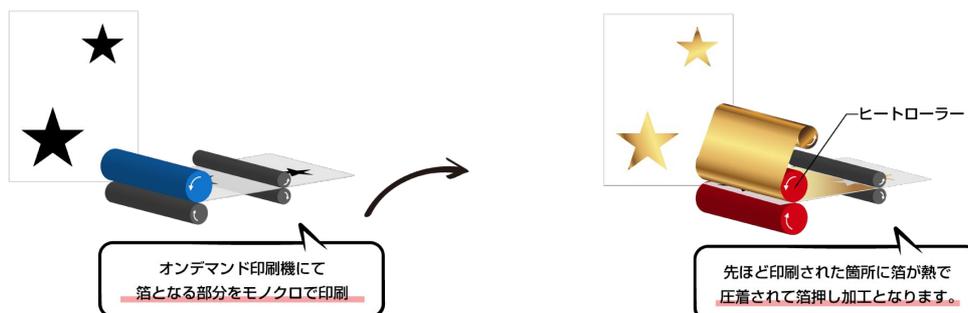
◎箔押しをするデータは**K100%**で作成してください

K100%以外のカラーやグラデーションのデータでは、加工の際に箔がキレイに圧着されませんので、**K100%**で作成してください。

◎文字やオブジェクトの線の太さ・大きさにご注意ください

『線・オブジェクト・文字』の『太さ・大きさ』が一般的な印刷可能サイズに満たない場合、箔が細部まで定着しない可能性があります。そのため、**文字の大きさは5pt以上、線幅は0.25pt以上**でのデータ作成を推奨しています。

ご注文時の色数について、**箔押し**のみの面は「**モノクロ**」となります。



《 詳しくはこちら▶ <https://www.meishiryohin.com/guide/submit-data-10> 》

最終チェック！よくある不備項目も確認しよう

- ⚠ QRコードがカラーのままモノクロになっていない
- ⚠ トンボがない、または非表示になっている
- ⚠ トンボが画像になっていて、正確な断裁指示が不明
- ⚠ 画像が埋め込まれておらず、リンクが切れている
- ⚠ 文字がアウトライン化されていない
- ⚠ 孤立点がある
- ⚠ 入稿データとテンプレートが結合されている
- ⚠ データが複数のアートボードに作成されている

よくある質問▶ <https://www.meishiryohin.com/faq?redirect=true>

ご注文お待ちしております！



発行所 株式会社エンター

名刺良品HP <https://www.meishiryohin.com/>

※本書の内容、テキスト、画像等の無断転載改変・再配布・複製は固く禁じます。

名刺良品

MESHIRYOHIN TOKYO